

◆総務委員会(8月18～20日)

磐田市：交通安全の啓発、多文化共生の取り組み
 柏市：男女共同参画事業、市民活動支援
 船橋市：国民健康保険事業、行政パートナー制度



磐田市では、多文化共生の取り組みについて視察しました。外国人の定住化が進む中(人口の5%を占める)、特徴として自治会、企業、商工会議所、教育関係、国際交流協会、外国人市民の各代表者などの参加による推進協議会が組織され、誰もが共に快適に暮らしていけるよう、現状の把握と問題解決の話し合いが定期的に行われ、暮らしやすいまちづくりのための取り組みが行われていました。

常任委員会の視察報告

◆民生福祉委員会(8月19～21日)

宇都宮市：子ども発達センター
 富山市：富山型デイサービス事業、介護支援事業所
 越前市：食育の取り組み



宇都宮市では、発達支援センターや保育所を完備した総合的な子育て支援施設を建設し、事業を推進していました。障がいのある子どもとない子ども、そして、その保護者も集える施設で、相互に交流も行いながら子どもの発達に大きく寄与していました。

富山市の介護支援事業所「ふるさとのあかり」では、赤ちゃんからお年寄りまで、障がいのあるなしに関係なく受け入れられており、どちらも特徴的な取り組みでした。

◆建設水道委員会(8月18～20日)

平塚市：居住用木造建築物の耐震診断・耐震改修補助事業、ブロック塀等防災工事補助事業
 市川市：雨水の地下への浸透および有効利用の推進
 彦根市：彦根市景観計画ならびに景観条例

彦根市では、歴史的雰囲気を残すまち、地域中心となる新しいまちや山並み、田園風景、閑静な住宅地など特色を大切にし、景観の豊かさや厚みのあるまちづくりに取り組むため、景観計画を策定。特に、歴史・文化を継承する地域には、景観条例を制定し、文化都市形成への取り組みが必要と感じました。



◆文教経済委員会(8月18～20日)

犬山市：教育改革
 湖南市：発達支援システム、特別支援教育の体制づくり
 品川区：小中一貫教育、すまいるスクール



犬山市では、少人数授業での学びあいの教育、先生手作りの地域素材副読本作りなどを視察。同市教育委員会が全国学力テストに不参加を決定した考えを聞きました。品川区の小中一貫校では、市民科創設など教育改革について、また、放課後児童クラブ「すまいるスクール」を視察しました。

湖南市では、特別支援・発達支援教育において、障がい児に対する「何が必要か。あきらめない。納得による安心」の実践例を視察。教育、福祉、保健、医療、就労の各機関の相互連携を調査しました。

編集後記

この夏は、水不足が心配された一方、市街地を中心にゲリラ豪雨による浸水被害が相次ぎ、長靴を履き、かっぱを着て近所の川を見に行かれた方も多くおられたでしょう。雨が降ると心配で、川の急激な流れに不安を感じられたことと思います。

「安心安全なまちづくり」が望まれている今日、環境の変化とともに刻々と変わる議会活動を、編集委員として分かりやすく皆さまにお伝えできるよう努めていきますので、よろしく願います。(井上)

【ホームページアドレス】
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/gikai/>

【メールアドレス】
gikai-shomu@city.fukuyama.hiroshima.jp

◆再生紙を使っています。

印刷/株式会社山オフセット印刷所 ☎084-922-0280